

「第19期（2021年3月期）業績」
「対処すべき課題」

19期（2021年3月期）連結業績

(百万円)	19期 (21/03期)	前期比	
売上高	46,086	+11,521 (+33.3%)	売上高 新型コロナウイルスPCR検査 関連製品や受託サービスが 大幅伸長し、過去最高。
売上総利益	31,872	+10,766 (+51.0%)	売上総利益 増収に加え、製品構成変化 や生産効率向上による原価率 低減により、大幅増益。
販売費及び 一般管理費	17,919	+3,088 (+20.8%)	営業利益 販売管理費が、研究開発費を 中心に前期より増加したが、 12期連続増益を達成。すべて の利益項目で過去最高。
営業利益	13,952	+7,678 (+122.4%)	
親会社株主に 帰属する 当期純利益	9,547	+5,727 (+149.9%)	

新型コロナウイルス関連製品・サービスを迅速に開発 検査体制の拡充、ワクチンなどの開発・製造に貢献

PCR検査システム構築

- 高速PCR検査システムを開発し、唾液検体などからの簡便・迅速な検査を実現
- 大量製造・安定供給体制を構築



Takara SARS-CoV-2 体外PCR検出キット
体外診断用医薬品

疫学的研究などへの貢献

- 新型コロナウイルス全ゲノム配列解析の受託サービスの実施
- 変異検出用試薬(研究用試薬)の開発

ワクチンなどの開発・製造協力

CDMO※として複数のプロジェクトに協力



※医薬品の開発・製造支援事業を指します。当社は、特に遺伝子治療薬などの再生医療等製品に注力しています。



定量目標は「長期経営構想2025」の最終年度の水準に到達 上振れた収益を持続的成長のための基盤構築に活用

		中期経営計画 2022 (23/03期)	長期経営構想 2025 (26/03期)	19期 (21/03期) 実績	20期 (22/03期) 予想
定量 目標	営業利益	65億円	100億円	139億円	140億円
	ROE	6%以上	8%以上	13.6%	12.6%
KPI (注1)	売上高	426億円	500億円	460億円	505億円
	研究開発費	63億円	70億円	55億円	58億円
その他	配当	-	-	16円/株 (注2)	16円/株

- 研究開発投資や設備投資を積極的に実施し、試薬事業やCDMO事業をさらに拡充し、持続的な成長をめざす。
- 人材育成など、長期的な業績拡大の基盤構築にも注力し、「創業企業」の実現へ向けた事業推進を加速する。
- 19期(21/03期)の配当は、前期から8円の増配。9期連続の増配。
- サステナビリティ経営を心掛け、バイオテクノロジーを駆使し、「持続可能な社会の実現」と「カラボイグループの持続的成長」の両立をめざす。

(注1) KPI: 業績管理指標 (注2) 本株主総会決議前提

